

村上 明美 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 村上明美 (2016). 7章 - 2 産科医療補償制度：助産師と産科医療補償制度. 臨床助産テキスト第4巻 重要な周辺知識 (pp.96-111). 大阪：メディカ出版.

3 その他の著作

- 1) 村上明美 (2017). 公益財団法人日本医療機能評価機構 第7回産科医療補償制度再発防止に関する報告書～産科医療の質の向上に向けて～. 産科医療補償制度再発防止委員会.
- 2) 村上明美 (2017). 平成28年度文部科学省 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業 看護系大学学士課程における臨地実習の先駆的取組みと課題 - 臨地実習の基準策定に向けて -. 一般社団法人日本看護家大学協議会.

4 学会等での活動

- 1) 村上明美 (2017). 産科医療補償制度 再発防止における最近の分析から 助産師の立場から医療安全を考える シンポジスト. 第31回日本助産学会学術集会. 徳島市.
- 2) 瀬谷絵莉佳, 村上明美, 谷口千絵 (2017). 初対面の助産師学生に受け持たれた産婦の経験 大学学士課程の分娩介助実習から. 第31回日本助産学会学術集会, 日本助産学会誌, 30(3), 539. 徳島市.
- 3) 村上明美 (2017). 医療安全を推進する適切な診療記録 産科医療補償制度から学ぶ 会長講演. 第30回神奈川母性衛生学会学術集会. 横浜市.
- 4) 村上明美, 谷口千絵, 高橋泰子他 (2016). 性暴力被害者支援に向けた啓発研修会を受講した学生の思い. 第57回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生, 57(3), 172. 東京都.
- 5) 山本光, 村上明美, 谷口千絵他 (2016). 学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会のレイプ神話への影響. 第57回日本母性衛生学会学術集会, 母性衛生, 57(3), 171. 東京都.
- 6) 村上明美 (2016). 助産師の卒前・卒後教育の現状と目標 学士課程における助産師教育 平成24年カリキュラム後の変化. 第34回東京母性衛生学会学術集会抄録集, 11. 東京都.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県助産師会理事, 2008.4.～
- 2) 一般社団法人日本母性衛生学会幹事, 2004.4.～
- 3) 神奈川県母性衛生学会理事, 2009.4.～
- 4) 産科医療補償制度再発防止委員・分析部会委員, 2009.4.～
- 5) 日本助産学会誌査読委員, 2008.4.～
- 6) 日本母性衛生査読委員, 2007.4.～

- 7) 日本助産学会代議員, 2015.4.～
- 8) 全国助産師教育協議会助産師教育研修研究センター運営委員, 2015.4.～
- 9) 第30回神奈川母性衛生学会学術集会会長, 2016.2.～2017.3.
- 10) 第32回日本助産学会学術集会会長, 2017.3.～

6 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ, リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産学概論, 助産診断・技術学Ⅰ, 助産診断・技術学Ⅱ, 助産管理論, 助産学実習, 卒業研究, 統合実習, ヒューマンサービス論Ⅰ, 保健医療福祉論.

2) 大学院

研究法Ⅱ, ウィメンズヘルスケア特論, ウィメンズヘルスケア演習, 看護学特別研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員, 2013.4.～
- 2) カリキュラム委員, 2013.4.～2017.3.
- 3) COI (利益相反) 委員, 2013.4.～
- 4) 博士課程設置検討委員, 2012.4.～2017.3.
- 5) 地域貢献研究センター長, 2015.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 関東労災病院にて臨床指導者研修講師, 2013～
- 2) 日本助産師会関東甲信越静ブロック大会企画委員長, 2014.6.～2017.3.
- 3) 神奈川県未病女子プロジェクトメンバー, 2015.7.～2017.3.
- 4) 研修会開催「看護職・福祉職・教職を目指す学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた研修会～性暴力対応における倫理と役割を学ぶ～」. 2015～

9 講演, 放送

- 1) 全国助産師教育協議会特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会講演「助産学教育課程」. 2016.6.18.
- 2) 愛媛県助産師会「医療安全と助産記録ー産科医療補償制度再発防止に関する報告書から学ぶー」. 2016.5.15.
- 3) 山形県看護協会助産師職能研修 「助産記録と法律」. 2016.6.17.
- 4) 長野県看護協会助産師職能研修「助産師と倫理」. 2016.24.
- 5) 宮城県看護協会産科管理者研修 「産科医療保障制度の事例から助産業務ガイドラインを読み解く」. 2016.9.10.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 村上明美研究代表. 産後/中高年女性の腹圧性尿失禁の予防・改善のための骨盤底筋

強化セルフケアの効果. 科研費(挑戦的萌芽研究), 3770 千円, 2015.4.1～2018.3.31.

- 2) 村上明美研究分担. 看護系大学学士課程の実習とその基準策定に関する調査・研究. 文部科学省 大学における医療人養成推進等委託事業, 12000 千円, 2015.10.1～2018.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 谷口千絵研究代表, 村上明美研究分担. 看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会の効果. 地域貢献研究センター研究助成金, 213 千円, 2016.5.10～2017.3.31.

12 受賞

- 1) 平成 28 年度神奈川県保健衛生表彰(知事賞). 2016.11.22.

織井 優貴子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 織井優貴子 (2016). 看護シミュレーション教育基本テキスト 設計・実践・評価のプロセス. 東京: 日総研.

2 学術論文

- 1) 織井優貴子 (2016). 看護基礎教育におけるシミュレーション教育プログラム導入の試み. 日本シミュレーション医療教育学会雑誌, 4, 54-63.
- 2) 黒田暢子, 織井優貴子 (2016). 看護基礎教育におけるシミュレータを用いたシミュレーション教育の実態調査. 日本シミュレーション医療教育学会雑誌, 4, 22-28.

4 学会等での活動

- 1) 織井優貴子 (2017). Oncologic Emergency シミュレーション教育研修の企画方法と効果. 第31回日本がん看護学会学術集会抄録集, 130. 高知.
- 2) 織井優貴子 (2017). 看護基礎教育と看護継続教育におけるシミュレータを用いた教育の実態調査. 第9回日本医療教授システム学会抄録集, 102-103. 広島.
- 3) Orii Y.(2016). Survey of actual Status of Education Using Simulator in Nursing Education in Japan –Comparative Study Undergraduate and Clinical Nursing. International Nursing Association for Clinical Simulation and Learning, TX, USA.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 青森県緩和ケア懇話会 世話人, 2009.10.～
- 2) 日本保健科学学会 評議委員, 論文査読委員, 2005.9.～
- 3) 日本医療教授システム学会 理事, 学会誌編集委員, 2007.6.～
- 4) Halla/Newcastle PBL Center Cheju Halla University(韓国) 理事, 編集委員, 2009.10.～
- 5) Japan Journal of Nursing Science (日本看護科学学会英文誌)査読委員, 2013.1.～
- 6) 日本看護科学学会 和文紙査読委員, 2014.4.～
- 7) 日本がん看護学会 評議委員, 査読委員, 2014.4.～
- 8) 日本シミュレーション医療教育学会 評議委員, 2014.5.～
- 9) ELNEC (The End-of-Life Nursing Education Consortium) コアカリキュラム指導者, 2013.11.～

6 学内教育活動

1) 学部

看護研究法, 老年看護学 I, 老年看護学 II, 老年看護学実習, 問題に基づく学習法 (PBL), 成人看護学 (慢性期), 成人看護学 (慢性期) 実習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

療養生活支援看護学特論, 療養生活支援看護学演習, 特別研究. 臨床薬理学, 臨床倫理学, 病態生理学.

3) 実践教育センター

臨床指導者研修会: 老年看護学の教育と実習指導.

看護教員養成課程: 新しい教育の方法; シミュレーション看護教育.

7 学内各種委員会活動

1) 博士課程設置検討委員会, 2016.4.1.～2017.3.31.

2) 看護学科教務委員会, 2016.4.1.～

3) 研究科委員会, 2016.4.1.～

4) 専任教授会, 2016.4.1.～

5) 研究科運営会議, 2015.4.1.～2017.3.31.

8 社会貢献

1) 横浜栄共済病院 看護研究指導, 2016.4.1.～

2) 青森県看護協会 青森県保健師助産師看護師実習指導者研修会講師「看護論」. 青森 2016.8.

9 講演, 放送

1) 高齢者の健康維持と薬の飲み方. 平成 28 年度ゆめクラブ大学. 神奈川県老人クラブ連合会 横須賀・三浦ブロック連絡協議会. 神奈川. 2016.10.

2) 利用者中心の保健医療福祉の連携— I P Wを知る— 神奈川県看護協会看護師職能委員会Ⅱ 研修会. 横浜. 2016.11.

3) シミュレーション教育と研究活動の視点. Nursing SUN Meeting. レールダルメディカル主催. 加古川. 2016.8.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 織井優貴子研究代表者. 東北のがん看護認定看護師が支援するがん患者サポートとしての「筆記療法」の効果. 平成 25 年度～29 年度文部科学省科学研究費 基盤研究(B), 12,000 千円, 2016.4.1～2018.3.31.

2) 織井優貴子研究代表者. 教授設計ワークシートを活用したシミュレーション看護教育システム開発と教育効果検証. 平成 26 年度～29 年度文部科学省科学研究費 (挑戦的萌芽研究), 3,640 千円, 2014.4.1～2018.3.31.

3) 佐々木雅史研究代表, 織井優貴子研究分担者. 介護老人保健施設の利用者急変に対応する看護職者を対象とした教育プログラムの開発. 平成 26 年度～28 年度文部科学省科学研究費 基盤研究 C, 3,380 千円, 2014.4.1～2016.3.31.

4) 黒田暢子研究代表, 織井優貴子研究分担者. エンドオブライフケア教育効果を高めるシミュレーション看護教育プログラムの検証. 平成 27 年度～29 年度文部科学省科学研究費 基盤研究(C), 4 780 千円, 2015.4.1～2018.3.31.

- 5) 難波貴代研究代表者, 織井優貴子研究分担者. 訪問看護師のコンピテンシーを高める教育プログラムの開発. 平成 26 年度～28 年度文部科学省科学研究費 挑戦的萌芽研究, 3,380 千円, 2016.4.1～2019.3.31.
- 6) 織井優貴子研究代表者. 高齢者のエンドオブライフケアにおけるシミュレーション教育の有用性に関する国際比較研究. 平和中島財団 海外研究者招聘研究, 1,000 千円, 2016.4.1～2017.3.31.

北岡 英子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 多次淳一郎, 北岡英子, 渡部月子, 別所遊子 (2016). 大都市における一人暮らし高齢者の外出による社会参加の頻度と関連要因. 東海公衆衛生雑誌, 4(1), 103-109.

4 学会等での活動

- 1) 田中智子, 彦根倫子, 古塩節子, 小野聡枝, 山本恵子, 北岡英子 (2016). 県保健師の個別支援スキル向上を目指した事例検討会での取組み. 第37回神奈川県地域保健師研究発表会抄録集.
- 2) 古塩節子, 彦根倫子, 山本恵子, 田中智子, 吉橋ひと美, 小野聡枝, 北岡英子, 米澤純子 (2016). 保健師の人材育成に関するワールドカフェ方式を用いたワークショップの企画運営と実施結果. 第37回神奈川県地域保健師研究発表会抄録集.
- 3) 田中智子, 木村芽生, 麻生由美, 宮崎晃子, 北岡英子 (2016). 特別支援学校での健康教育における保健師の役割 (第1報). 第37回神奈川県地域保健師研究発表会抄録集.
- 4) 木村芽生, 田中智子, 麻生由美, 宮崎晃子, 北岡英子 (2016). 特別支援学校での健康教育における保健師の役割 (第2報). 第37回神奈川県地域保健師研究発表会抄録集.
- 5) 田中智子, 古塩節子, 彦根倫子, 山本恵子, 吉橋ひと美, 小野聡枝, 北岡英子 (2016). ワールドカフェ方式を用いた保健師の人材育成に関するワークショップの実施と成果. 第62回神奈川県公衆衛生学会抄録集.
- 6) 北岡英子 (2016). 第5分科会「親子保健・学校保健」座長. 第75回日本公衆衛生学会総会. 2016.10.27.
- 7) 松坂由香里, 山崎真帆, 北岡英子 (2017). 一人配置保健師の実態と支援体制の課題. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 140.
- 8) 彦根倫子, 古塩節子, 田中智子, 山本恵子, 吉橋ひと美, 小野聡枝, 北岡英子, 米澤純子 (2017). 人材育成をテーマとしたワークショップから得られた保健師の成長促進要因. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 187.
- 9) 横山美江, 北岡英子, 近藤政代, 岸田久世 (2017). 切れ目ない妊娠・出産・子育て支援: フィンランドのネウボラから学ぶ. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 205. ワークショップ 1-6.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生雑誌編集委員, 2014.4.～2018.3.
- 2) 日本公衆衛生看護学会誌編集委員, 2015.4.～2018.3.
- 3) 日本アルコール関連問題学会評議員 学会誌編集委員, 2010.4.～2018.3.
- 4) 神奈川県茅ヶ崎市健康増進計画推進委員会委員長, 2012.4.～2018.3.
- 5) 神奈川県大磯町健康増進計画推進委員会委員, 2012.4.～2018.3.

- 6) 横須賀市国民健康保険運営協議会委員, 2013.4.~2018.3.
- 7) 横須賀市開発審査会委員, 2013.4.~2018.3.
- 8) 全国保健師教育機関協議会 研修委員会 研修体制構築班メンバー, 2016.6.~2017.6.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ・Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護活動演習Ⅰ・Ⅱ, 公衆衛生看護管理論Ⅰ・Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 在宅看護学実習, 災害看護論.

2) 大学院

地域ケア特論, 地域・精神看護学特論, 地域・精神看護学演習.

3) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程(看護) 看護研究計画演習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員長, 2016.4.~2017.3.

8 社会貢献

- 1) 平成 28 年度 神奈川県新任保健師指導者研修「新任期保健師を育てるためのポイント~ティーチングとコーチング~」. 2016.6.17.
- 2) 平成 28 年度 神奈川県実習指導者講習会(特定分野)「実習指導の原理」. 2016.10.20.
- 3) 平成 28 年度 全国保健師教育機関協議会秋季教員研修「公衆衛生看護学教育に関する効果的な教材・演習の工夫」座長. 2016.10.25.
- 4) 平成 28 年度 相模原市中堅前期地域保健専門職研修「県内中堅期専門職の現状と課題」. 2016.12.26.
- 5) JICA 青年研修 中央アジア・コーカサスの母子保健実施管理コース「日本の母子保健の課題と展望」. 2017.1.24.
- 6) 平成 28 年度 横浜市栄区こども家庭支援課研修(事例検討) スーパーバイズ. 2017.2.6, 3.6.
- 7) 平成 28 年度 神奈川県保健師研修(基礎コース・後期)「事例検討から支援の方向性を考える」. 2017.2.10.
- 8) 平成 28 年度 神奈川県保健福祉事務所保健師研修「保健師活動の質を高めるためには」. 2017.3.7.

白水 真理子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 奥井良子, 白水真理子, 杉本知子, 間瀬由記, 中原慎二, 大友香織, 北浦菜穂子, 脇裕典 (2017). 就労している非インスリン使用の2型糖尿病患者における体系的血糖自己測定を含むセルフモニタリングの経験. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 25-34.

4 学会等での活動

- 1) 間瀬由記, 白水真理子, 奥井良子 (2016). 非インスリン使用の2型糖尿病患者に対するセルフモニタリング教育の有用性—6 か月後の変化—. 日本看護科学学会第36回学術集会, 東京.
- 2) 奥井良子, 白水真理子, 杉本知子, 間瀬由記 (2016). 就労している非インシュリン使用の2型糖尿病患者における体系的血糖自己測定とセルフモニタリングの経験. 日本看護科学学会第36回学術集会, 東京.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本循環器看護学会誌専任査読委員, 2011.4.～
- 2) 日本糖尿病教育・看護学会誌専任査読者, 2004.～
- 3) 日本慢性看護学会評議員, 2006.～
- 4) 日本循環器看護学会誌編集委員, 2016.10.21.～
- 5) 社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団評議員, 2006.～2017.3.31.
- 6) 神奈川県看護協会倫理審査会委員, 2012.7.～2017.3.31
- 7) 日本看護学教育学会専任査読者, 2015.4.～
- 8) 日本看護学教育学会第27回学術集会企画委員, 2016.9.20～

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学（慢性期）Ⅰ, 成人看護学（慢性期）Ⅱ, 成人看護学（慢性期）実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
看護教育学特論, ヒューマンサービスト論, ヒューマンサービス演習, 看護学特別研究.
- 3) 実践教育センター
教員・教育担当者養成課程（看護）看護教育課程論（成人看護学）.
教員・教育担当者養成課程（看護）看護教育方法（概論）.
実習指導者教育（講習会）成人看護分野の教育と実習指導.

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科長，2016.4.～2017.3.
- 2) 大学院運営委員会委員長，2016.4.～2017.3.
- 3) 博士課程設置検討委員会委員長，2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 健康フェア in 横須賀において，日々の足から健康習慣-血糖測定フェア-を開催した．2016.8.20～21.
- 2) 大学祭において，日々の足から健康習慣-血糖測定フェア-を開催した．2016.11.6.
- 3) 神奈川糖尿病看護研究会のメンバーとして，研究会に出席し，事例検討会を実施し，糖尿病看護の向上に努めている．2016.6.～2017.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 白水真理子，中原慎二，間瀬由紀，奥井良子，杉本知子，兼松百合子．仕事をもつ2型糖尿病患者および境界型におけるセルフモニタリングの有効性．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，800 千円，2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 谷口綾子主任研究者，白水真理子研究分担者．健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究．学研究費助成事業（補助金）基盤研究（A），1,200 千円，2016.4.1～2017.3.31.

12 受賞

- 1) 委員長を務める博士課程設置検討委員会が，神奈川県保健福祉局長表彰を受けた．2016.10.19.

谷口 千絵 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) C,Taniguchi & C, Sato (2016). Home-based walking during pregnancy affects mood and birth outcomes among sedentary women: A randomized controlled trial. *International Journal of Nursing Practice*. doi: 10.1111/ijn.12453.
- 2) 喜多里己, 谷口千絵, 千葉邦子, 小原真理子, 橋本優子, 奥津啓子 (2016). 東日本大震災以前の東京都災害拠点病院産科棟における災害時の備えの実態. *日本災害看護学会誌*, 18(2), 11-23.

4 学会等での活動

- 1) 谷口千絵, 喜多里己 (2016). 被災地災害拠点病院の妊産婦支援に向けた病院助産師と派遣助産師の協働. 第 17 回日本赤十字看護学会学術集会講演集, 175. (北見). 2016.7.3.
- 2) 谷口千絵 (2016). 日本赤十字看護学会研究活動委員会 交流セッションⅢ 看護研究セミナー「研究助成制度の活用のしかた—はじめて助成金の申請をする研究者のため—」. 第 17 回赤十字看護学会学術集会講演集, 73. (北見)
- 3) 山本光, 村上明美, 高橋恭子, 谷口千絵, 山田明美 (2016). 学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた啓発研修会のレイプ神話認識への影響. 第 57 回日本母性衛生学会総会学術集会, 母性衛生, 57(3), 171. (東京)
- 4) 村上明美, 谷口千絵, 高橋恭子, 山本光, 山田明美 (2016). 性暴力被害者支援に向けた啓発研修会を受講した学生の思い. 第 57 回日本母性衛生学会総会学術集会, 母性衛生, 57(3), 172. (東京)
- 5) 瀬谷絵莉佳, 村上明美, 谷口千絵 (2017). 初対面の助産師学生に受け持たれた産婦の経験 —大学学士課程の分娩介助実習から—. 第 31 回日本助産学会学術集会, 日本助産学会誌, 30(3), 539. (徳島)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本助産学会専任査読委員, 2007.4.～
- 2) 日本助産学会教育・研修委員, 2008.4.～2018.3.
- 3) 日本保健科学学会評議員, 2008.10.～
- 4) 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会専任査読委員, 2010.4.～2018.9.30.
- 5) 一般社団法人日本看護研究学会査読委員, 2010.11.～
- 6) 公益社団法人日本助産師会安全対策委員, 2013.5.～
- 7) 日本赤十字看護学会誌専任査読委員, 2013.9.～
- 8) 公益社団法人全国助産師教育協議会 選挙管理委員長, 2014.7.27～2016.12.
- 9) 財団法人日本助産評価機構助産実践個人認証評価部評価員, 2015.4.1～2016 年定時社員総会締結まで
- 10) 日本赤十字看護学会研究支援委員会委員, 2015.7.1～2018 年総会まで

- 11) 日本赤十字看護学会研究奨励賞選考委員，2016.3.15～2018年総会まで
- 12) 日本赤十字看護学会研究助成選考委員，2016.12.1～2017.3.31.
- 13) 神奈川母性衛生学会査読者，2016.5.9～2016.12.31.
- 14) 日本助産学会学術集会企画実行委員・事務局長，2017.1.10～2018.5.31.
- 15) 日本看護倫理学会第11回年次大会企画委員，2017.2.27～2018.6.30.

6 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ，リプロダクティブ・ヘルスケア実習，助産診断技術学Ⅰ，地域母子保健，助産学実習，統合実習，卒業研究.

2) 大学院

ウィメンズヘルスケア特論．ウィメンズヘルスケア演習の科目を担当し，1名の副指導教員として大学院生の指導を行った．2016.4.1～2017.3.31.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会，2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科教務委員，2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) 実践教育センター看護実習指導者講習会（病院等）「母性看護学・助産学の教育と実習指導」，2016.8.24.
- 2) 実践教育センター看護教育計画演習にて，学生1名の指導．2016.12.～2017.2.
- 3) 葛飾赤十字産院「倫理研修会Ⅱ」講師，2016.7.22, 2016.11.20.
- 4) 葛飾赤十字産院「倫理研修会Ⅲ」講師，2017.2.21.
- 5) 神奈川県立足柄上病院「観て、聴いて、感じて！！看護のお仕事 in 足柄上病院」大学紹介，2016.7.25～26.
- 6) 神奈川県移行教育をすすめる仲間の会「2年課程通信制夏季集中講座の学習会」母性看護学講師，2016.7.31.
- 7) JICA 青年研修中央アジア・コーカサス母子保健実施管理コースの研修プログラムの立案およびコーディネート，評価．講義120分担当．2017.1.13～2017.1.27.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 谷口千絵研究代表．被災地災害拠点病院の妊産婦支援に向けた病院助産師と派遣助産師の協働．日本赤十字看護学会研究助成金，300千円，2014.10.1～2016.8.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 谷口千絵研究代表．看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象として性暴力者支援に向けた啓発研修会の効果．地域貢献研究センター助成金，213千円，2016.5.10～2017.3.31.

野中 淳子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 野中淳子 (2017). 子どもと家族の力をひきだす技. 今野美紀, 二宮啓子編集, 看護学テキスト NiCE 小児看護学技術 改訂第3版 (pp.214-223). 東京: 南江堂.

4 学会等での活動

- 1) Junko Nonaka, Msako Yoneyama, Sumiko Oka, Mchiko Mori.(2016). -The current status and issues of psychological and social support in Japan and overseas-.48th Congress of the International Society of Pediatric Oncology, (October 19-22, 2016 in Dublin, Ireland).
- 2) Junko Nonaka.(2016). A model for interacting with siblings of children with cancer. 48th Congress of the International Society of Pediatric Oncology, (October 19-22, 2016 in Dublin, Ireland).
- 3) 野中淳子 (2016). 口演 9「子どもの病気と家族」5 演題座長. 一般社団法人日本小児看護学会第26回学術集会. 2016.7.23. (大分).
- 4) 野中淳子 (2016). 一般演題 口演「長期フォローアップ」座長. 第14回日本小児がん看護学会学術集会. 2016.12.16.東京. 品川プリンス.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本小児看護学会評議委員, 2013～
- 2) 日本小児がん看護学会理事, 2003～
- 3) 日本小児看護学会専任査読委員, 2006～

6 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学 I, 小児看護学 II, 小児看護学実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
小児看護学概論, 小児看護学演習, 看護学特論研究.
- 3) 実践教育センター
看護実習指導者講習会 (病院等)「小児看護学の教育と実習」講義.
教員・教育担当養成課程看護教育課程論(看護)「小児看護学課程論(小児看護学)」講義.

7 学内各種委員会活動

- 1) 人権倫理委員会委員長, 2016.4.～2017.3.
- 2) 看護学科 教務委員, 2016.4.～2017.3.
- 3) 看護学科 カリキュラムワーキン委員長, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 日本小児看護学会第 26 回学術集会オンライン査読, 2016.4.
- 2) 日本小児看護学会, 専任査読者, 研究論文査読, 2016.4.
- 3) 一般社団法人 日本小児看護学会, 専任査読委員, 研究論文査読, 2016.5.
- 4) 神奈川県立保健福祉大学 第 13 回ヒューマンサービス公開講座〈春期〉, 暮らしの中の保健福祉, 子どもの健康とグリーフ, 講演, かながわ県民センターホール, 2016.6.12.
- 5) 第 2 回「きょうだいが主役になる日」スタンプラリー病院探検ツアーのイベント企画・開催, 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター協催, 2016.7.30.
- 6) 2 年課程通信夏季集中講座講師, 「小児看護学」講義, ヴィリング横浜, 2016.7.31.
- 7) 日本小児がん看護学会 第 14 回学術集会, 抄録の査読 8 編, 2016.8.
- 8) 神奈川県教育委員会教育局支援部 特別支援教育課 平成 28 年度小児看護ステップ研修講座 7, 「改めて小児看護学を学ぶー家族看護についてー」講義, 特別支援学校看護師 43 名, 神奈川県立保健福祉大学. 2016.8.24.
- 9) 第 3 回こども医療センターエキスパートコース講師, 講義「論文作成の基礎」, 2017.2.21.
- 10) 第 79 回こども医療センター看護集談会, 看護研究発表会講評, 2016.11.12.
- 11) 第 3 回こども医療センターエキスパートコース 看護研究指導 看護研究中間発表会「看護研究における進捗状況の共有・意見交換」, 対象者 3 名, 2016.11.29.
- 12) 第 14 回日本小児がん看護学会学術集会 一般演題 抄録査読, 2016.6.
- 13) 青年研修中央アジア・コーカサス混成/母子保健実施管理コース, 講義「日本の小児看護の課題と展望」, 神奈川県立保健福祉大学. 2017.1.23.
- 14) 一般社団法人日本小児看護学会, 第 27 回学術集会抄録 4 編オンライン査読, 2017.3.24.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 野中淳子代表. 米山雅子, 岡澄子, 内田雅代, 古谷佳由理. 小児がんの子どものきょうだい支援に関する看護介入プログラム開発. 平成 26 年～29 年学術研究醸成金基盤 C, 872 千円, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 古谷佳由理研究代表, 野中淳子研究分担者. 小児慢性疾患患者における成人移行期支援のためのヘルスリテラシー尺度の開発, 平成 26 年～28 年挑戦的萌芽研究, 50 千円, 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 内田雅代研究代表者, 野中淳子研究連携者. 小児がん看護の標準化を目指した「ガイドライン」の臨床活用の検討とケアモデルの開発. 基盤研究 (B), 2014.～2017.

野村 美香（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 野村美香（2017）. 成人看護学に関するデータ VII.腎・泌尿器に関するデータ, VIII. 女性生殖器に関するデータ, 周手術期に関するデータ. 神田清子, 二渡玉江編, 看護データブック第5版 (pp.110-125, 297-321). 東京: 医学書院.

4 学会等での活動

- 1) 大道美保, 野村美香, 木下里美（2017）. 未成年の子をもつ婦人科がん患者における母親役割の変化(第2報). 第31回日本がん看護学会学術集会抄録集, 182頁. 高知.
- 2) 野村美香（2017）. 特別企画「がん体験者と創る看護の未来像 ー当事者の声を聴き、看護がなすべきことを創るー」座長. 第31回日本がん看護学会学術集会.
- 3) 野村美香（2017）. 口演 第20群がん看護 座長. 第36回日本看護学科学学会学術集会.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本がん看護学会, 専任査読者, 年に数本の学術論文を査読する. 2010.4.～
- 2) 日本看護科学学会, 専任査読者, 年に数本の学術論文を査読する. 2011.4.～

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ, 成人看護学（急性期）Ⅱ, 成人看護学（急性期）実習, 統合実習, 卒業研究. 科目責任者として科目全体の運営を行い, 講義, 演習, 実習指導研究指導を担当した.

2) 大学院

高度実践看護師教育課程としての, がん看護専門看護師コースのカリキュラムを運営した. がん看護学特論Ⅰ, がん看護学特論Ⅱ, がん看護学特論Ⅲ, がん看護学演習Ⅰ, がん看護学演習Ⅱ, がん看護学実習Ⅰの科目責任者として, 科目全体の運営を行った. さらに, 看護課題研究においては, 2名の学生に対して, 主指導教員として, 研究課題の明確化, 研究計画書作成を指導した.

3) 実践教育センター

がん患者支援講座において, 他職種を対象に「がんと診断された時からの緩和ケア」の講義を担当した.

認定看護管理者教育課程（ファースト）において, 「看護研究の基礎」「効果的なプレゼンテーション」, 教員・教育担当者養成課程において, 「研究計画書の作成」「プレゼン・抄録の作成法」の講義を担当した. さらに, 感染管理認定看護師の教育課程において, 文献検索・エビデンスベーストプラクティスに関する演習を担当した.

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会，看護学科教務委員長，2011.4.1～2017.3.31.
- 2) カリキュラム委員会，2011.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県看護協会 緩和ケア認定看護師教育課程において，事例研究指導と講評を行った．2015.10.1～2017.3.31.
- 2) がんプロフェッショナル養成プラン(都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育(東京女子医科大学、杏林大学、帝京大学、駒澤大学)」外部評価委員として，評価を行った．2015.4.1～2017.3.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 野村美香，土井英子．子宮頸がん検診の継続受診を目指す統合的リスクコミュニケーションツールの開発．平成 27 年度 挑戦的萌芽研究，600 千円，2014.4.1～2017.3.31.

水戸 優子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 水戸優子監修 (2017). 基7章 姿勢と活動の援助. 医療情報科学研究所編, 看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? ①基礎看護学第7版 (pp.294-335). 東京: メディックメディア.

2 学術論文

- 1) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 若村智子, 鈴木ひとみ, 平田美和, 小林由実, 富田川智志, 鈴木和代 (2016). 交流セッションII 移動動作ガイドラインに基づく道具を使用した安全安楽な方法の検討. 日本看護技術学会誌, 15(1), 22-24.
- 2) 水戸優子, 大石朋子, 芳村直美 (2016). 交流セッションVIII 口から食べることを支える摂食・嚥下ケアの教授・学習活動の提案. 日本看護技術学会誌, 15(1), 39-41.
- 3) 渡邊恵, 水戸優子 (2017). 臨床現場における体温・循環調節の看護用具の活用実態に関する研究—文献検討とインタビュー調査—. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 43-53.

3 その他の著作

- 1) 水戸優子 (2016). 看護学とバイオメカニズムの有機的關係. バイオメカニズム学会誌, 14(3), 145.

4 学会等での活動

- 1) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 芳村智子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2016). 交流セッション10 移動動作ガイドラインに基づく補助具を使用した安全安楽な方法の検討. 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 58.
- 2) 水戸優子, 芳村直美, 大石朋子, 白瀧美由紀 (2016). 交流セッション3 口から食べるを支える摂食・嚥下ケアの教授・学習方法の提案 (その2). 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 51.
- 3) 芳村直美, 水戸優子, 海老澤夏美 (2016). 摂食・嚥下機能低下をきたした肺炎高齢患者に対する看護実践の特徴. 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 75.
- 4) 水戸優子 (2016). 示説6 群体位を整える・動くケア座長. 日本看護技術学会第15回学術集会講演抄録集, 15.
- 5) 水戸優子 (2016). 交流集会「今、改めて臨地実習指導に必要な能力とは」司会. 日本看護学教育学会第26回学術集会プログラム講演集, 87.
- 6) 野崎真奈美, 水戸優子, 渡辺かづみ (2016) 交流セッション30 PDE(plan, do, evaluation)サイクルを循環させる授業設計—いまどきの看護学生にあった授業のつくり方—. 日本看護学教育学会第26回学術集会プログラム講演集, 140.
- 7) 渡邊恵, 水戸優子 (2016) 臨床現場における体温・循環調節の看護用具の活用実態に関する研究. 日本看護学教育学会第26回学術集会プログラム講演集, 206.

- 8) 水戸優子 (2016). 交流セッション4 一般演題看護技術教育①座長. 日本看護学教育学会第26回学術プログラム講演集.
- 9) 小林由美, 水戸優子 (2016). 移動用具の違いによる患者のベッド上での上方移動における看護者の動作分析 (第2報) -素手, スライディングシート, ポジショニンググローブの準備時からの比較-. 第24回看護人間工学部会総会・研究発表会プログラム抄録集, 78.
- 10) 水戸優子, 小林由実 (2016). 移動用具の違いによる患者のベッド上での上方移動における看護者の動作分析 (第3報) -素手, スライディングシート, ポジショニンググローブの使用動作時の筋活動の比較-. 第24回看護人間工学部会総会・研究発表会プログラム抄録集, 77.
- 11) 水戸優子 (2016). 看護・介護・介助・防災セッション司会. 第37回バイオメカニズム学術講演会講演集, 24.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員, 専任査読委員, 技術研究成果検討委員として看護技術の検証研究活動および看護技術の開発の推進, 普及活動に努めた. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った. 2016.4.～2017.3.
- 2) 日本看護技術学会, 看護系学会等社会保険連合委員, 日本看護技術学会の代表として看護系学会等社会保険連合会議に年3回出席し, 診療報酬改定に向けて提案活動を行った. 2016.4.～2017.3.
- 3) 日本看護学教育学会, 教育活動委員会委員, 専任査読者, 年3回の会議および頻繁のメール会議に出席し看護教育の向上に向けた活動を行い, 特に第2回臨地実習指導研修会「今、改めて臨地実習指導とは(基礎編)」を企画, 運営を行った. 2016.4.～2017.3.
- 4) バイオメカニズム学会, 理事, 年4回の会議に出席し, 財務理事を担当するとともに優秀論文の推薦を行った. 2016.4.～2017.3.
- 5) 保健師助産師看護師試験委員, 年5回の会議に出席し保健師助産師看護師試験に関する検討を行った. 2016.4.～2017.3.
- 6) 平成29年度「第三次産業労働災害防止対策支援事業(保健衛生業)に係る総合評価落札方式技術審査委員会」委員, 2017.3.
- 7) 第36回日本看護科学学会学術集会実行委員, 2016.12.10.
- 8) 一般社団法人聖路加看護学会 評議員, 2016.6.～2017.3.

6 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護理論概説, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 看護倫理, 看護応用ゼミナール, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習

II, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

基礎看護学特論, 基礎看護学演習, フィジカルアセスメント, 病態生理学, 看護倫理, 看護学特別研究の科目を担当し, 指導教員として 2 名の大学院生を指導した. さらに 1 名の修士論文審査の主査を行った.

3) 実践教育センター

認定看護管理者教育課程(サード)の科目「研究論文のクリティーク」について 8 時間の講義を行った.

実習指導者講習会の科目「看護論(1)看護理論」「基礎看護学の教育と実習指導」「看護論(2)看護過程」について各 8 時間の授業を行った.

7 学内各種委員会活動

1) 学生委員, 2016.4.～2017.3.

2) 看護学科教務委員, 2016.4.～2017.3.

3) 看護学科カリキュラム検討ワーキングメンバー, 2016.4.～2017.3.

4) 看護学科の代表として千葉大学大学院看護学研究科の実施した「平成 28 年度看護学教育ワークショップ」に参加. 2016.10.27～10.28.

8 社会貢献

1) 横須賀市立うわまち病院の 6 部門の看護職者研究グループの研究指導を会議と E メールにて行った. 2016.12.～2017.2.

2) 横須賀共済病院の 4 部門の看護職者研究グループの研究指導を会議と E メールにて行った. 2016.6.～2017.2.

3) 東名厚木病院の 8 部門の看護職者研究グループの研究指導を会議と E メールにて行った. 2016.6.～2017.3.

4) 平成 28 年度横須賀市市民大学・保健福祉大学共催夏期特別講座において「『口から食べる』を続けるためのいろは」の講義を行った. 2016.8.3.

9 講演, 放送

1) 日本看護学校教務主任養成講習会(大阪)「教育評価」「教育評価演習」講師. 2016.8.4～10.21.

2) 神奈川県看護協会による平成 28 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルヘルスケアサービス管理論の講師として講演を行った. 2016.12.

3) 日臨技医療政策企画「病棟業務に必要な能力開発実践研修会」講師. 2017.3.

11 学内研究助成金の受託

1) 水戸優子代表, 小林由実, 渡邊恵研究分担. 移動用具の違いによる患者のベッド上移動における看護者の腰部負担に注目した動作分析ー素手、スライディングシート、ポジショニンググローブ使用動作時の筋活動の比較ー. 平成 28 年度看護学科助成金, 104 千円, 2016.6.～2017.3.

12 受賞

- 1) 水戸優子, 大石朋子, 芳村直美による「半側空間無視を有する患者の食事時の正面位姿勢調整ケア要素の抽出ー観察データの分析」が日本看護技術学会第14回学術集会(2015) 座長推薦演題第10位として選出された.
- 2) 芳村直美, 水戸優子, 海老沢夏美による「摂食・嚥下機能低下をきたした肺炎高齢患者に対する看護実践の特徴」が日本看護技術学会第15回学術集会(2016) 座長推薦演題第8位として選出された.

宮芝 智子 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 牛尾裕子, 松下光子, 塩見美抄, 宮芝智子, 飯野理恵, 島澤順子, 小巻京子, 竹村和子 (2016). 地域診断の実習・演習における教員の評価視点—ルーブリック開発のためのパフォーマンス評価の規準となる内容の探索—. 日本地域看護学会誌, 19(3), 6-14.

3 その他の著作

- 1) 宮芝智子 (2017). 看護教育学に導かれたキャリア・ディベロップメント. 日本看護教育学研究, 26(1), 1-8.

4 学会等での活動

- 1) 宮芝智子, 舟島なをみ (2016). 看護学の講義における教授活動の質に関係する教員の特性. 日本看護学教育学会第 26 回学術集会講演集, 150. 8 月 (東京).
- 2) 千葉由美, 加納佳代子, 宮芝智子 (2016). 看護師長がスタッフに意図的に示している部署責任者行動. 日本看護管理学会学術集会抄録集, 286. 8 月 (神奈川).
- 3) 宮芝智子, 舟島なをみ (2016). 看護学の講義における教授活動の質と教員特性の関連. 第 36 回日本看護科学学会学術集会, 504. 12 月 (東京).
- 4) 本間玲央, 加納佳代子, 宮芝智子 (2016). 卒後 1・2 年目看護師が捉える職場の組織風土と自己教育力との関連. 第 36 回日本看護科学学会学術集会, 257. 12 月 (東京).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護教育学学会査読委員, 2007.4.1.～
- 2) 日本看護教育学学会編集委員, 2011.4.1.～
- 3) 日本看護教育学学会第 26 回学術集会実行委員, 2015.11～2016.10.
- 4) 日本看護教育学学会第 27 回学術集会会長, 2016.11.～
- 5) 第 36 回日本看護科学学会学術集会実行委員, 2016.12.

6 学内教育活動

1) 学部

看護教育学, エビデンスベーストナーシング, 問題に基づく学習法, 臨床看護応用演習, 基礎実習 I, 慢性看護実習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

看護教育学特論, 看護理論, 看護教育学演習, 看護学特別研究.

3) 実践教育センター

実習指導者講習会「教育課程総論」, 「実習評価」, 「実習指導の原理」.

7 学内各種委員会活動

- 1) 博士課程設置検討委員会, 2014.10.～2017.3.
- 2) 大学院研究科運営会議, 2016.4.～2017.3.
- 3) 大学院研究科入試委員会, 2016.4.～2017.3.
- 4) 看護学科カリキュラムワーキング, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 乳がん看護認定看護師教育課程「指導」の講師担当. 2016.7.～2016.9.
- 2) 東海大学大学院修士課程の「看護教育論」の講師担当. 2016.9.～2016.11.

12 受賞

- 1) 第 20 回日本看護管理学会学術集会オーラル賞. 「看護師長がスタッフに意図的に示している部署責任者行動」. 2016.8.
- 2) 千葉看護学会 論文表彰. 「教授活動自己評価尺度－看護学講義用－の開発 効果的なファカルティ・ディベロップメントの実現に向けて」. 2016.9.

伊関 敏男（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 山下真裕子，伊関敏男，藪田歩（2016）．地域で暮らす精神障がい者の服薬に関する現状．第26回日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集，119．
- 2) 伊関敏男，山下真裕子，藪田歩（2016）．精神科看護職の睡眠障害に対する認識．第26回日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集，144．
- 3) 伊関敏男，山下真裕子，藪田歩（2016）．精神科看護職の睡眠に対する認識 -性別・年齢・経験年数による比較 - ．日本看護研究学会第42回学会学術集会抄録集，238．
- 4) 山下真裕子，伊関敏男，藪田歩（2016）．精神障がい者のニーズを取り入れた服薬における遠隔看護支援システムの開発．日本看護研究学会第42回学会学術集会抄録集，246．
- 5) 伊関敏男，山下真裕子，藪田歩（2016）．精神科病棟看護職における不穏時薬の利用基準．日本精神科看護協会神奈川県支部看護研究発表会抄録集，22-23．
- 6) 伊関敏男，山下真裕子，藪田歩（2016）．精神科医療における頓用薬の現状．第23回日本精神科看護専門学術集会抄録集，47．

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 第37回日本看護科学学会学術集会，査読委員，2016.4.1～2016.10.31．
- 2) 認定NPO法人心の架け橋いわて，実行委員，2013.～現在に至る
- 3) 第5回全国ピアスタッフの集い，事務局，2016.4.～2016.10．

6 学内教育活動

- 1) 学部
心のしくみ，精神看護学Ⅰ，精神看護学Ⅱ，精神看護学実習，統合実習，卒業研究，災害看護学．
- 2) 大学院
コンサルテーション論，地域・精神看護学特論．
- 3) 実践教育センター
看護研究指導．

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員会委員，2014.4.～現在に至る
- 2) 動物実験専門部会委員，2014.4.～2017.3.31．
- 3) 看護領域大学院研究科委員会委員，2014.4.～現在に至る

8 社会貢献

- 1) 釜石・大槌災害支援活動，2016.4.～2017.3．
- 2) 神奈川県立実践教育センター，研究指導，2016.5.～2017.10．

- 3) 教員免許更新講座，講師，2016.8.2.
- 4) 神奈川県准看護師勉強会，講師，2016.7.31.
- 5) 看護実習指導者講習会，講師，2016.8.23.
- 6) 神奈川県立精神医療センター，研究指導，2016.8.～2017.2.
- 7) 認知症サポーター養成研修，ファシリテーター，2016.8.24.
- 8) 神奈川県立平塚看護専門学校，精神看護学，2016.4.～現在に至る.
- 9) 横須賀市「メンタルヘルス・マネジメン研修」講師，2017.2.3.

11 研究助成金の受託

- 1) 伊関敏男．児童・思春期精神科病棟における院内学級の在り方に関する研究．明治安田こころの健康財団研究助成，500 千円，2016.7.～2017.6.

岡 澄子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 岡澄子, 野中淳子, 米山雅子 (2017). NICUに入院した子どもの父親の体験に関する文献検討. 日本小児看護学会誌, 26, 78-83.

4 学会等での活動

- 1) Junko Nonaka, Sumiko Oka, Masako Yoneyama, Michiko Mori.(2016). A literature review on support for sibling of children with cancer – The current status and issues of psychological support in Japan and overseas-. 48th Congress of the International Society of Pediatric Oncology (SIOP), October 19-22, Ireland (in Dublin).
- 2) 岡澄子 (2016). 一般演題「外来・在宅支援、フォローアップ」座長, 第14回日本小児がん看護学会学術集会.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 特定非営利活動法人日本小児がん看護学会事務局 (事務局長), 2016.4.～2017.1.
- 2) 特定非営利活動法人日本小児がん看護学会, 専任査読委員, 2016.4.～2017.3.
- 3) 一般社団法人日本小児看護学会, 専任査読者, 2016.4.～2017.3.

6 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学Ⅰ, 小児看護学Ⅱ, 小児看護学実習, 統合実習, 卒業研究, 看護応用ゼミナール.
- 2) 大学院
小児看護学特論Ⅰ, 看護学特別研究, 臨床薬理学.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学内研究助成委員会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 看護学科実習委員会, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立こども医療センター, 「きょうだいが主役になる日」きょうだい支援イベント (野中淳子代表の科学研究費補助金を受けて実施) の開催準備・運営, 2016.7.30.
- 2) 高大連携プログラム, 神奈川県立二俣川高校, 「親になるってどういうこと?」講師, 2016.9.28.
- 3) 神奈川県立こども医療センター, エキスパートナースコース履修の看護職者研究指導, 2016.6.～2017.3.
- 4) 公益財団法人日本看護科学学会, 第36回学術集会一般演題査読, 2016.6.～7.

5) 一般社団法人日本小児看護学会，第 26 回学術集会一般演題査読，2016.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 野中淳子代表，内田雅代，岡澄子，米山雅子，古谷佳由理．小児がんの子どものきょうだい支援に関する看護介入プログラムの開発．科学研究費補助金 基盤研究 (C)，1200 千円，2016.4.～2017.3.

金 壽子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 金壽子 (2017). 生命徴候を観察する技術. ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 (pp.63-94). 大阪:メディカ出版.

2 学術論文

- 1) 金壽子 (2017). 知的障害者に焦点を当てた看護教育に関する文献検討. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 55-60.

4 学会等での活動

- 1) Kim.S, Hong.E.(2016).Issues and impacts on people with intellectual disability (ID) having health warning signs and difficulty expressing their symptoms in the community: case report. International Association for the Scientific Study of Intellectual and Developmental Disabilities, World Congress in Melbourne, Australia. August,2016.
- 2) Kim.S, Hong.E.(2016).Detecting Health Warning Signs of People with Intellectual Disability (ID) Having Difficulty in Expressing Symptoms in the community: An Interview Survey.2016 Nursing & Healthcare Congress in Vancouver, Canada. August,2016.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本発達障害学会, 評議員, 2015.1.～2017.12.

6 学内教育活動

1) 学部

看護学原論、看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ, 看護倫理, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習.

International Friendship Circle の顧問として学生活動を支援した.

2) 大学院

フィジカルアセスメントの科目責任および基礎看護学特論, 基礎看護学演習を一部担当した.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 実習センター運営委員会, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 小田原市立市民病院新人看護師研修のフィジカルアセスメント研修の担当, 2016.5.

- 2) 小田原市立市民病院フィジカルチームへの補助的な教育支援(最新情報の提供や資料提供), 2016.11.
- 3) 鶴巻温泉病院看護研修で、実習指導者及び中堅看護師に対するフィジカルアセスメント研修担当, 2016.5～2017.1.
- 4) 横須賀市民病院看護研修での看護研究講義の講師, 2016.7.
- 5) 横須賀市民病院内の看護研究に対する研究指導, 2016.7.～2017.3.
- 6) 花みずき(横浜市)わかりやすい学習会「成人～老年の知的障害のある方の健康について気をつけること」の講師, 2016.9.
- 7) あまね共同作業所(横須賀市)研修会「仲間たちのよりよい高齢期を迎えるためにー仲間たちの健康に留意すべきことー」の講師, 2017.2.
- 8) 平成 28 年度横須賀市市民大学(夏期特別講座)保健福祉大学共催講座「おなかの中にいたときにタイムスリップ!ーいのちの大切さを考えてみようー」講師, 2016.8.

9 講演, 放送

- 1) 国立病院機構近畿ブロック(大阪)平成 28 年度保健師助産師看護師実習指導者講習会「フィジカルアセスメント」講義・演習を担当. 2016.8.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 金壽子研究代表. 自覚症状の言えない知的障害者の健康危険サインキャッチへの挑戦. 平成 27 年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究, 1300 千円, 2016.4.～2017.3.

小林 珠実 (大学院研究科兼務)

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本緩和医療学会教育・研修委員会 ELNEC-J WPG ELNEC-J 講師，WG 員，2016.8.～2018.7.
- 2) 第 36 回日本看護科学学会学術集会，実行委員，2016.12.11.

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ，成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，臨床看護応用演習，卒業研究.

2) 大学院

がん看護学特論Ⅰ，がん看護学特論Ⅲ，がん看護学特論Ⅳ，がん看護演習Ⅰ，がん看護学演習Ⅲ，がん看護学実習Ⅰ，がん看護学実習Ⅱ，がん看護学実習Ⅲ，看護課題研究.

3) 実践教育センター

平成 28 年度感染管理認定看護師教育課程における文献検索・文献購読. 2016.5.13.

平成 28 年度がん患者支援講座 プログラム<講座 4>がん患者の症状緩和Ⅱがんサバイバーを支えるコミュニケーション～「ひとりで抱え込まない」ための支援. 2016.12.17.

平成 28 年度教員・教育担当者養成課程（看護）における看護研究計画演習 計画作成指導. 2016.12.～2017.2.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会委員，2016.4.～2017.3.
- 2) FD 委員会委員，2016.4.～2017.3.
- 3) 看護学科 FD 委員長，2015.4.～2016.3.
- 4) 看護学科カリキュラムワーキング委員，2015.4.～2016.3.

8 社会貢献

- 1) 川崎市立川崎病院における事例研究指導，2016.6.～2016.11.
- 2) 第 16 回 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム，2016.10.1～2.京都市.

14 その他

- 1) 土井英子，野村美香，歌川美希，大場美穂，田代理沙，小林珠実. 外来化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の質—パイロットスタディー. 平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会. 2016.7.6.

畑中 高子（大学院研究科兼務）

6 学内教育活動

1) 学部

学校保健論Ⅰ・Ⅱ，総合演習（養護教諭），学校保健方法論，養護概説，養護実習Ⅰ・Ⅱ，教職実践演習（養護教諭），卒業研究，統合実習．

教員採用試験対策講座の開催（1次試験合格者に対して面接と模擬授業の指導）．

養護教諭課程の在校生と卒業生との交流会の開催（教員採用試験情報，就職情報，学習情報等について意見交換をする）．

2) 大学院

地域・精神看護学特論．

7 学内各種委員会活動

1) 地域貢献推進研究センター運営委員会，2016.4.1～2017.3.31．

2) オープンキャンパス担当，2016.4.1～2017.8.15．

8 社会貢献

1) 神奈川県教育委員会，教育職員特別免許状授与に関する意見書を記載する．2016.6．

2) 教育職員免許法に基づき，神奈川県立保健福祉大学における平成28年度 教員免許状更新講習を開催し，選択領域の講師の依頼と試験監督，採点，講師等を担当する．2016.8.1～8.3．

3) 平成28年度横浜市教育委員会の養護教諭実習サポートガイドの作成の助言，指導を実施した．2016.4.1～2016.12．

4) 特別研究生（大和市立小学校 養護教諭 1名）を1年間受け入れ，研究指導に当たる．研究テーマ：「チームとして学校」に向けた組織的な支援の手立てに関する研究～養護教諭による情報発信と連携の工夫を通して～．2016.4.～2017.3．

5) かながわ教育フェスティバル 2016 に学生と参加し発表者への助言指導を実施した．2016.10.15,10.29．

6) 平成28年度横須賀市学校保健研究会養護教諭部会に参加し意見交換を実施した．2017.2.15．

間瀬 由記（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 藤野彰子，長谷部佳子，間瀬由記編著（2017）. 看護技術ベーシックス第2版. 東京：サイオ出版.

2 学術論文

- 1) 奥井良子，白水真理子，杉本知子，間瀬由記，中原慎二，大友香織，北浦菜穂子，脇裕典（2017）. 就労している非インスリン使用の2型糖尿病患者における体系的血糖自己測定とセルフモニタリングの経験. 神奈川県立保健福祉大学誌，14（1），25-34.

4 学会等での活動

- 1) 間瀬由記，村岡宏子，木村充広（2016）. 外来呼吸リハビリテーションに参加するCOPD患者における運動習慣の獲得過程. 日本慢性看護学会誌，10(1)，A76.
- 2) 間瀬由記，白水真理子，奥井良子（2016）. 非インスリン使用の2型糖尿病患者に対するセルフモニタリング教育の有用性-6か月後の変化-. 第36回日本看護科学学会学術集会講演集，636.
- 3) 奥井良子，白水真理子，杉本知子，間瀬由記（2016）. 就労している非インスリン使用の2型糖尿病患者における体系的血糖自己測定とセルフモニタリングの経験. 第36回日本看護科学学会学術集会講演集，633.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会，専任査読者，2016.4.1～2018.9.30.
- 2) 日本慢性看護学会編集委員会，専任査読委員，2016.10.16～2018.3.31.
- 3) 第21回日本糖尿病教育・看護学会学術集会一般演題査読者，2016.5.
- 4) 神奈川県看護協会「看護研究推進支援事業」指導講師，2016.6～2017.3.
- 5) 第18回神奈川県看護教育フォーラム実行委員，2016.4～2017.3.
- 6) 日本看護教育学会第28回学術集会企画・実行委員，プログラム委員長，2016.12.～2018.8.

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（慢性期）Ⅰ，成人看護学（慢性期）Ⅱ，成人看護学（慢性期）実習，終末期看護論，臨床看護応用演習，統合実習，卒業研究，基礎看護学実習Ⅱ，看護研究法（1コマ）.

2) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程看護コース 看護研究計画演習（ゼミ），看護実習指導者講習会（病院等）フォローアップ研修.

3) 大学院

看護学特別研究，病態生理学（1 コマ）.

7 学内各種委員会活動

- 1) 進路支援委員，2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科教務委員，2016.4.1～2017.3.31.
- 3) オープンキャンパス 看護学科相談コーナー担当，2016.8.6.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立循環器呼吸器病センター看護職者研究指導，2016.4.～2017.3.
- 2) 横須賀共済病院臨床看護研究指導，2016.7.～2017.3.
- 3) 横須賀市民の健康増進活動，「日々の足から健康習慣プロジェクトー血糖測定フェアー」と題して，横須賀市民を対象に身体計測（身長・体重・血圧・血糖）と身体活動の振り返りを行い，それに基づいた健康指導を4日間実施した．2016.5.～2016.11.
- 4) 第18回神奈川県看護教育フォーラム 交流セッション2「実習環境の向上を目指したワークショップを実践して」セッション進行係．2017.3.11.
- 5) 慢性看護研究会の主催・大学HPへの掲載
平成24年に成人看護学（慢性期）領域の有志3名で研究会を立ち上げた．平成28年度は，2回の講演会を実施した．会報を大学HPに掲載している．2016.6.24，2017.3.24.

9 講演，放送

- 1) 横須賀共済病院「臨床看護研究の基礎」講師．2016.4.28.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 白水真理子，間瀬由記，奥井良子，中原慎二，杉本知子．仕事をもつ2型糖尿病患者および境界型におけるセルフモニタリングの有効性．平成28年度科学研究費補助金 基盤研究（C），800千円，2016.4.1～2017.3.31.

吉田 安子（大学院研究科兼務）

3 その他の著作

- 1) 吉田安子 (2017). ニュージーランドの助産師教育と助産師活動に関する視察報告. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 71-79.

4 学会等での活動

- 1) 吉田安子 (2016). ニュージーランドの助産師教育と助産師活動－視察報告－. H28年神奈川県立保健福祉大学研究発表会.
- 2) 杵淵恵美子, 吉田安子 (2016). 看護職者の妊娠中絶に対するスティグマ. 第57回日本母性衛生学会学術集会抄録集, 299. 2016.10.15.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第30回神奈川母性衛生学会 総会ならびに学術集会, 一般演題査読委員および実行委員, 2016.10.21～2017.3.4.
- 2) 第30回神奈川母性衛生学会 総会ならびに学術集会, 座長, 2017.3.4.
- 3) 第32回日本助産学会学術集会実行委員, 2017.1.～

6 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産診断技術学Ⅲ, 助産学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員会, 4年生担当, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科国家試験委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 看護学科オープンキャンパス委員会 (委員長), 2016.4.1～2017.3.31.
- 4) チューター, 2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) リプロダクティブ・ヘルスケア／助産学領域主催定例研究会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 全国助産師教育協議会「特定分野（助産）における保健師助産師看護師実習指導者講習会」助産学実習指導の実際, 2016.7.～8.
- 3) 川崎市立川崎病院, 平成28年度事例研究段階指導及び発表会講評, 講師, 2016.6～11.
- 4) JICA 中央アジア・コーカサス母子保健実施管理コースにて「日本の看護教育における母性看護学」の講義担当, 2017.1.17.

渡部 月子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 渡部月子 (2017). 基有桂他編集, 在宅看護論・地域療養を支えるケア 改訂版 (pp.142-143). 大阪: メディカ出版.

2 学術論文

- 1) 多次淳一郎, 北岡英子, 渡部月子, 別所遊子 (2016). 大都市における一人暮らし高齢者の外出による社会参加の頻度と関連要因; 地縁組織活動への参加に焦点をあてて. 東海公衆衛生雑誌, 5(1), 103-109.

3 その他の著作

- 1) 鎌倉市社会福祉協議会における法人後見の取組について (答申). 2016.12.

4 学会等での活動

- 1) 武藤三千代, 渡部鎌二, 若山葉子, 渡部月子 (2016). ラジオ体操を継続実施している高齢者の生活習慣と効果について. 第75回日本公衆衛生学会抄録集, 527.
- 2) 若山葉子, 武藤三千代, 渡部鎌二, 渡部月子, 川田智之 (2016). ラジオ体操実施効果に関する調査研究. 第75回日本公衆衛生学会抄録集, 527.
- 3) 渡部月子 (2017). 高齢者の生活活動カテストとQOLとの関連. 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 148.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 鎌倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会, 副委員長, 2016.4.～2017.3.
- 2) 鎌倉市介護保険運営協議会, 副委員長, 2016.4.～2017.3.
- 3) 横須賀市保健医療推進対策協議会健康増進計画・食育推進計画専門部会, 2016.4.～2017.3.
- 4) 神奈川県保険医協会倫理審査委員会, 2016.4.～2017.3.
- 5) 鎌倉市社会福祉協議会法人後見検討委員会, 委員長, 2016.4.～2016.12.
- 6) 鎌倉市老人福祉センター選定委員会委員, 2016.8.
- 7) 鎌倉市地域包括支援センター選定委員会委員, 2016.8.
- 8) 日本運動・スポーツ科学学会査読委員, 2016.4.～2017.3.
- 9) 日本公衆衛生看護学会査読委員, 2016.4.～2017.3.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ, 地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 在宅看護学実習, 公衆衛生看護演習Ⅰ, 公衆衛生看護演習Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 統合実習, 卒業研究, ヒューマンサービス総合演習.

2) 大学院

地域・精神看護学特論, 地域・精神看護学演習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 自己評価委員会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 国際協働専門部会, 2016.4.～2017.3.
- 3) 看護学科国際協働ワーキング委員長, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業集合研修講師. 「身体の健康管理（生活習慣病）」
「こころの健康管理」「熱中症予防」. 2016.6.
- 2) 慶応義塾大学看護医療学部非常勤講師. 「健康教育技法」. 2016.5.～6.
- 3) 神奈川県看護職員認知症対応力向上研修ファシリテーター. 2016.8.
- 4) 鎌倉市地域サポーター養成講座講師. 「これからの介護予防と地域づくりについて」.
2016.9.
- 5) 川崎市幸区健康長寿推進事業フォロー講座講師. 「地域で健康づくりをすることの意義・活動のポイント」. 2017.3.

渡邊 眞理 (大学院研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) 渡邊眞理 (2016). がん患者の療養支援. 系統別看護学講座 がん看護学 第 2 版 (pp.290-306). 東京: 医学書院.
- 2) 渡邊眞理 (2016). 第 4 章 術後の状態にそった生活援助. がん看護コアカリキュラム日本版 (pp.77-85). 東京: 医学書院.

4 学会等での活動

- 1) 渡邊眞理 (2016). 交流集会 I 看護師のクリニカルリーダー (日本看護協会版) を用いた人材育成 (講演). 第 47 回日本看護学会-急性期看護-学術集会抄録集, 60. 宜野湾市.
- 2) 渡邊眞理 (2017). がん薬物療法における曝露対策～組織に働きかけるために必要な理論と実際例～ (講演). 第 31 回日本がん看護学会学術集会講演集, 322. ガイドライン委員会主催研修会. 高知市.
- 3) 渡邊眞理 (2017). 外来がん看護体制の充実に向けて-新たな仕組みづくり-シンポジスト. 第 31 回日本がん看護学会学術集会. がん看護技術開発委員会主催研修会. 高知市.
- 4) 得みさえ, 清水奈緒美, 小野礼子, 山内桂子, 山口里枝, 濱田安岐子, 小笠原利枝, 嶋中ますみ, 武見綾子, 鈴木由美子, 日塔裕子, 渡邊眞理 (2017). K 県の看護師のための緩和ケア研修会の効果と課題 (示説). 第 31 回日本がん看護学会学術集会講演集, 183. 高知市.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) NPO 法人がん医療研修機構副理事長, 2005.4.～
- 2) 公益社団法人神奈川県看護協会 緩和ケア認定看護師教育課程教員会委員, 2007.4.～
- 3) 看護師のための神奈川緩和ケア研究会代表, 2008.4.～
- 4) 一般社団法人日本がん看護学会理事, 2010.4.～2017.2.
- 5) 一般社団法人日本がん看護学会 査読委員, 2010.4.～2017.2.
- 6) 東京都がん診療連携拠点病院等選考委員会委員, 2011.4.～
- 7) 一般社団法人日本がん看護学会 がん看護技術開発委員会委員長, 2013.4.～2017.2.
- 8) 公益社団法人日本看護協会 平成 28 年度厚生労働省委託事業「がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア等研修事業」研修プログラム作成有識者会議委員, 2013.4.
- 9) 公益社団法人日本看護協会 教育委員会委員, 2014.4.～
- 10) NPO 法人抗がん剤曝露対策協議会副理事長, 2014.4.～
- 11) 公益社団法人日本看護協会 看護職賠償責任保険制度運営委員会委員, 2015.4.～
- 12) 横須賀市立病院運営委員会委員, 2016.4.～
- 13) 一般社団法人日本看護管理学会評議委員, 2016.8.～

- 14) 第 31 回日本がん看護学会学術集会査読委員, 2016.9.～2017.2.
- 15) 一般社団法人日本がん看護学会 がん看護技術開発委員会委員, 2017.3.～

6 学内教育活動

1) 学部

看護関係法規, 看護とキャリアデベロップメント, 看護管理学, 保健医療福祉論Ⅰ, ヒューマンサービス総合演習, 卒業研究, 統合実習, 老年看護実習, 基礎看護実習Ⅱ.

2) 大学院

コンサルテーション論, 看護管理学・政策特論, 看護学特別研究.

3) 実践教育センター

認定看護管理者教育課程(サード)看護経営者論.

認定看護管理者教育課程(セカンド)看護組織管理論(看護組織のナレッジマネジメント, 組織の意思決定と変革).

看護実習指導者講習会 看護管理・看護倫理.

7 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献推進委員会, 2016.4.～
- 2) 看護学科実習委員会, 2016.4.～2017.3.

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター平成 28 年度がん看護専門研修講演。「がん看護の専門性と必要な実践能力」. 2016.4.23.
- 2) 公益社団法人神奈川県看護協会 認定看護管理者教育課程ファーストレベル講演「看護実践の倫理」. 2016.7.25, 8.4.
- 3) 神奈川県立病院機構平成 28 年度看護職員研修「専門Ⅱ」講演. 2016.7.26, 10.27.
- 4) 昭和大学大学院保健医療学研究科 CNS コースがん看護学特論Ⅱ講演. 2016.9.20.
- 5) 公益社団法人日本看護協会 平成 28 年度厚生労働省委託「がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア等研修事業」地域緩和ケアのネットワーク構築に向けた地域別交流会講演。「がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア等研修事業の概要」. 2016.10.21.
- 6) 第 34 回神奈川県看護協会 横須賀支部 看護・介護研究発表会 講評. 2016.11.19.
- 7) 公益社団法人神奈川県看護協会 認定看護管理者養成課程セカンドレベル「人材を活かす看護マネジメント」講演. 2016.11.11, 11.15.
- 8) 日本赤十字看護大学大学院 CNS コース「コンサルテーション論」講演. 2016.11.24.
- 9) 公益社団法人日本看護協会 平成 28 年度厚生労働省委託「がん医療に携わる看護師に対する地域緩和ケア等研修事業」地域緩和ケアのネットワーク構築に向けた地域別交流会講演。「地域に活かそう!がん患者へのシームレスな療養支援のための知識と技術」. 2017.1.28.

大場 美穂

2 学術論文

- 1) Oe M, Ohashi Y, Takehara K, Oba M, Doi M, Iizuka Y, Murayama R, Kadowaki T, Sanada H.(2016). Foot complications in patients with diabetes mellitus: practical report of diabetic foot clinic in Beijing. Japanese Journal of Foot Care, 14(2), 57-61.

4 学会等での活動

- 1) 井上享子, 佐竹正子, 野尻幸子, 艾青, 邵瑛輝, 大橋優美子, 大江真琴, 大場美穂, 竹原君江, 土井麻里, 沖杉真理, 國井大輔, Thor Hongwooi, 大平吉夫, 富田益臣, 菊池守, 飯塚陽子, 中村幸一, 野坂和雄 (2016). 中国北京市における糖尿病患者の服薬指導報告と低血糖調査結果. 第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会抄録集, 糖尿病 59 (1S), 418. 京都. 2016.5.19-21.
- 2) 大江真琴, 大橋優美子, 竹原君江, 大場美穂, 土井麻里, 村山陵子, 門脇孝, 真田弘美 (2016). 糖尿病患者の足病変の実態: 北京における足外来の実践報告. 第 25 回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会抄録集, 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌, 20(2), 221. 金沢. 2016.6.11-12.
- 3) Oba M, Oe M, Abe M, Takehara K, Shirai K, Kitamura Y, Yamanaka T, Ikeda K, Sanada H. (2016). Relationship between skin dryness and foot tinea of Japanese dialysis patients. Abstract book of 5th congress of WUWHS,410. Florence, Italy, Sep, 2016.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学(急性期)Ⅱ, 成人看護学(急性期)実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習, 看護応用ゼミナール, 老年看護学実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 看護学科1年生担任, 看護学科学生委員会メンバー, 2016.4.～2017.3.
- 3) 看護学科国際協働ワーキンググループ, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) Exchange Meeting 開催, 神奈川県立保健福祉大学. 2016.5.30.
- 2) リレーフォーライフ参加, 新横浜. 2016.11.11.
- 3) 横須賀米海軍病院日米合同看護シンポジウム参加, 2017.3.20.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 大場美穂. 入院中の透析患者における足部の実態とセルフケア実施状況の調査. 神奈川県立保健福祉大学 研究助成 B (奨励研究), 189 千円, 2016.4.～2017.3.

末田 千恵

4 学会等での活動

- 1) 河原智江, 末田千恵, 土屋典子 (2016). 地域包括支援センターにおける利用者・家族とサービス事業者のマッチング — マッチングのプロセスと要素 —. 日本社会福祉学会第64回秋季大会報告要旨集, 343-344. (9月 京都).
- 2) 井上聡子, 門川由紀江, 末田千恵 (2016). 精神疾患の症状を呈する中学校高等学校の生徒にむけた熟練養護教諭の実践. 第36回日本看護科学学会学術集会講演集, 402. (12月 東京).
- 3) 末田千恵, 河原智江, 門川由紀江 (2016). 病棟看護師が行う退院支援のタイプと困りごとの内容. 第6回在宅看護学会学術集会プログラム・抄録集, 103. (11月 東京).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 狛江市介護保険推進市民協議会委員, 2003.12.～
- 2) 狛江市高齢小委員会委員, 2015.11.～

6 学内教育活動

- 1) 学部
在宅看護学, 在宅看護学実習, 地域看護学実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
がん看護学特論.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2016.10.～

田辺 けい子 (大学院研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) 田辺けい子 (2017). I 講義編 4. 保健医療専門職におけるプロフェッショナルリズム: 4) 助産師. 日本保健医療行動科学会雑誌編, 講義と演習で学ぶ保健医療行動科学 (pp.42-45). 奈良: 日本保健医療行動科学会.

4 学会等での活動

- 1) 田辺けい子 (2016). ジェンダーに侵略されたリプロダクティブ・ボディ: 「少子化世代」の女性たちに対する聞き取り調査から. 第18回日本母性看護学会学術集会抄録集, 80.
- 2) 田辺けい子 (2016). <孫は私の子どもではない>という語りの文化人類学的考察: 「生殖から離れている身体」の健康支援. 日本保健医療行動科学学会学術大会抄録集.
- 3) 一般演題 (家族2) 座長. 第57回日本母性衛生看護学会学術大会.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本母性衛生学会, 幹事, 2013.8.～
- 2) 一般社団法人日本母性衛生学会, 学会誌査読委員, 2013.8.～
- 3) 一般社団法人日本母性看護学会, 学会誌専任査読委員, 2007.8.～
- 4) 第57回母性衛生学会学術集会, 一般演題抄録査読委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 5) 第18回日本母性看護学会学術集会, 一般演題抄録査読委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 6) 第30回神奈川母性衛生学会学総会・学術集会, 実行委員, 2016.6.1～2017.3.4.
- 7) 第30回神奈川母性衛生学会総会・学術集会, 一般演題査読委員, 2016.10.21～2017.3.4.
- 8) 第30回日本助産学会学術集会, 実行委員, 2017.1.10～2018.5.末日
- 9) 第30回日本助産学会学術集会, 企画委員, 2017.1.10～2018.5.末日

6 学内教育活動

- 1) 学部
リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習,
助産診断技術学Ⅳ, ウイメンズヘルスケア, 助産学実習,
臨床看護応用演習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
ウィメンズヘルスケア演習, 看護学特別研究.
研究指導補助教員 2016.4.1～2017.9.30.

7 学内各種委員会活動

- 1) 図書・情報委員 (自己評価委員), 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科 設備備品担当委員 (委員長), 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) チューター, 2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立衛生看護専門学校 非常勤講師, 「看護研究 I」, 2017.1.30～2017.2.20.
- 2) リプロダクティブ・ヘルスケア/助産学領域主催定例研究会幹事, 2016.4.1～2017.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 田辺けい子. 子どもを産まないまま老齡期を迎えていく女性たちに対する健康支援の検討. 平成 26 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金): 挑戦的萌芽研究, 1,950 千円, 2014.4.1～2017.3.31. (平成 26～28 年度)

14 その他

- 1) 海外研修・招聘事業 (青年研修) 受け入れに関すること
「JICA 青年研修中央アジア・コーカサス 母子保健実施管理コース」において, 講義「マタニティサイクルにおける母子の健康と日本の看護」を担当した. 研修生はウズベキスタン, キルギス, トルクメニスタン, アゼルバイジャンから来訪した母子保健に携わる保健省などの行政官や公衆衛生センター等保健機関のスタッフらである.
なお, 本コースは日本国政府の開発援助の一環として, 相手国政府との二国間技術協力協定に基づき独立行政法人国際協力機構 (JICA) が実施する研修で, その目的は「将来のリーダーとして母子保健分野における問題解決を担う青年層の知識と意識の向上を図る」というものである.

土井 英子

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，卒業研究，災害看護論．

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生員会 3年生担任，2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 時間割編成ワーキンググループ，2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 看護学科FD委員会，2016.4.1～2017.3.31.
- 4) 看護学科オープンキャンパス委員会，2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 新横浜，2016.11.12.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 土井英子．放射線療法を受ける頭頸部がん患者の口腔粘膜炎症重症化予防プログラムの開発．科学研究費補助金若手(B)，650千円，2016.4.1～2017.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 土井英子，野村美香，歌川美希，大場美穂，田代理沙，小林珠実．外来で化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠障害に関する実態調査．神奈川県立保健福祉大学看護学科共同研究助成，127千円，2016.6.1～2017.3.31.

松坂 由香里

2 学術論文

- 1) 松坂由香里, 荒木田美香子 (2017). 行政保健師の家族支援実践力尺度の開発－信頼性・妥当性の検討－. 家族看護研究, 22(2), 74-86.

4 学会等での活動

- 1) 松坂由香里, 荒木田美香子 (2016). 行政保健師の家族支援実践力尺度の開発－信頼性・妥当性の検討－. 日本家族看護学会第 23 回学術集会講演集, 122.
- 2) 松坂由香里, 山崎真帆, 北岡英子 (2017). 一人配置保健師の実態と支援体制の課題. 第 5 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 140.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本家族看護学会査読委員, 2016.4.1～2017.3.31.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学 I・II, 公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護活動演習 I・II, 公衆衛生看護管理論 I・II, 公衆衛生看護学実習, 地域看護学実習, 在宅看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員 (委員), 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科 3 年次クラス担任, 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 学内 チューター, 2016.4.1～2017.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 大島憲子研究代表者, 松坂由香里. 認知症者の行動・心理症状に対するケア技術と評価尺度に関する研究. 学内研究助成 A (協働研究), 420 千円, 2016.4.1～2017.3.31.

山口 みのり (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 山口みのり (2016). 2015 年度試験問題「基礎看護技術」解答解説. 医学書院看護出版部編, 2017 年度版准看護師試験問題集. 東京: 医学書院.
- 2) 山口みのり, 岡田美紀, 菊地由美, 黒須一見, 大黒理恵, 三津山信治, 水戸優子, 山内豊明 (2017). 医療情報科学研究所編, 看護師・看護学生のためのなぜ? どうして? 2018-2019①基礎看護学 第 7 版. 東京: メディックメディア.

3 その他の著作

- 1) 川島みどり, 上林茂暢, 平松則子, 河合桃代, 山口みのり, 大宮裕子 (2016). 第 5 回技術論検討会. 看護実践の科学, 41(5), 61-68.
- 2) 川島みどり, 上林茂暢, 平松則子, 鈴木享子, 河合桃代, 山口みのり, 茂野香おる (2016). 第 6 回技術論検討会. 看護実践の科学, 41(11), 57-60.
- 3) 川島みどり, 上林茂暢, 鈴木享子, 山口みのり, 茂野香おる, 大宮裕子 (2017). 第 7 回技術論検討会. 看護実践の科学, 42(1), 30-36.
- 4) 川島みどり, 上林茂暢, 鈴木享子, 山口みのり, 茂野香おる, 大宮裕子 (2017). 第 8 回技術論検討会. 看護実践の科学, 42(2), 54-60.
- 5) 川島みどり, 上林茂暢, 平松則子, 鈴木享子, 山口みのり, 茂野香おる (2017). 看護技術教育上の困りごと第 1 回. 看護実践の科学, 42(3), 61-66.

4 学会等での活動

- 1) 山口みのり (2016). 「洗面」の援助に関する看護教育の変遷—看護書の記載からの検討—. 日本看護歴史学会第 30 回学術集会抄録集, 105-106.
- 2) 山口みのり (2016). 新人看護師が 1 年目に退職を考えた理由. 日本看護学教育学会第 26 回学術集会抄録集, 243.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護研究学会, 査読委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 日本看護技術学会, 評議員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 日本看護技術学会, 専任査読者, 2016.4.1～2017.3.31.
- 4) 日本看護技術学会第 15 回学術集会, 演題査読, 2016.5.1～2016.7.31.
- 5) 日本看護学教育学会第 28 回学術集会, 企画委員・運営委員.

6 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III, 看護理論概説, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

基礎看護学特論，基礎看護学演習．

3) 実践教育センター

認定看護管理者研修ファーストレベル「看護理論 看護理論の理解と実践での活用」
講師． 2016.5.1～2016.7.31.

7 学内各種委員会活動

1) 看護学科設備・備品担当委員会， 2016.4.1～2017.3.31.

2) 看護学科 FD 委員会， 2016.4.1～2017.3.31.

3) 看護学科学生委員会， 2016.4.1～2017.3.31.

4) チューター， 2016.4.1～2017.3.31.

5) オープンキャンパス， 2016.8.7.

8 社会貢献

1) 神奈川県看護職員認知症対応力向上研修プログラムファシリテーター， 2016.7.1～
2016.8.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

1) 山口みのり研究代表.生活行動援助に関する新人看護師教育のプログラム構築—排泄
援助習得過程からの検討—. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研
究 B， 500 千円， 2016.4.1～2017.3.31.

山下 真裕子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 山下真裕子, 藪田歩, 伊関敏男 (2016). 地域で暮らす精神障がい者の訪問看護師による服薬支援の現状と課題. 日本精神保健看護学会誌, 25(1), 99-107.
- 2) 牧野耕次, 比嘉勇人, 甘佐京子, 山下真裕子, 清水康男 (2016). 精神科看護におけるかかわり(involvement)研修の開発と評価. 人間看護学研究, 14, 9-16.
- 3) 山下真裕子, 藪田歩, 伊関敏男 (2016). シミュレーション教育における精神障がい者のイメージへの影響 本学の精神看護学教育における新たな取り組み. 神奈川県立保健福祉大学誌, 13(1), 71-81.
- 4) 藪田歩, 山下真裕子, 伊関敏男 (2016). 精神看護学実習前の看護学生の精神障がい者に対するイメージ. 神奈川県立保健福祉大学誌, 13(1), 61-70.

4 学会等での活動

- 1) 山下真裕子, 伊関敏男, 藪田歩 (2016). 精神障がい者のニーズを取り入れた服薬における遠隔看護支援システムの開発. 日本看護研究学会雑誌, 39(3), 246.
- 2) 伊関敏男, 山下真裕子, 藪田歩 (2016). 精神科看護職の睡眠に対する認識 性別・年齢・経験年数による比較. 日本看護研究学会雑誌, 39(3), 238.
- 3) 山下真裕子 (2016). 精神障がい者の服薬に関する遠隔看護支援システムの評価. 第36回日本看護科学学会学術集会講演集, 283.
- 4) 伊関敏男, 山下真裕子, 藪田歩 (2016). 精神科看護職の睡眠障害に対する認識. 第26回日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 144.
- 5) 山下真裕子, 伊関敏男, 藪田歩 (2016). 地域で暮らす精神障がい者の服薬に関する現状. 第26回日本精神保健看護学会学術集会・総会プログラム・抄録集, 119.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本精神保健看護学会第26回学術集会 実行委員, 2016.7.2～7.3.
- 2) 日本看護科学学会第36回学術集会 実行委員, 2016.12.10.

6 学内教育活動

- 1) 学部
心のしくみ, 精神看護学Ⅰ, 精神看護学Ⅱ, 精神看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 1年生担任, 2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパスでは妊婦体験を通して, 来場者に看護の魅力・本学で看護を学ぶ魅力について伝えた. 2016.8.6.

- 2) 横須賀市立看護専門学校で非常勤講師として看護の質の向上に寄与する看護研究の講義を全7回行った。2016.4.8～4.26.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 山下真裕子. 精神障害者が地域生活を送るためのセルフマネジメント評価尺度の開発. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究(C), 4,810 千円, 2016.4.1～2019.3.31.

米山 雅子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 米山雅子 (2017). 症状に対するケア⑤痛み. パーフェクト臨床実習ガイド 小児看護 第2版 (pp.257-268). 東京: 照林社.
- 2) 米山雅子 (2017). 食事の援助技術①. 小児看護技術 子どもと家族の力を引き出す技 改訂第3版 (pp.162-174). 東京: 南江堂.

2 学術論文

- 1) 岡澄子, 野中淳子, 米山雅子 (2017). NICUに入院した父親の体験に関する文献検討. 日本小児看護学会誌, 26(1), 78-83.

4 学会等での活動

- 1) Junko Nonaka, Sumiko Oka, Masako Yoneyama, Michiko Mori.(2016).A literature review on support for sibling of children with cancer – The current status and issues of psychological support in Japan and overseas-.48th Congress of the International Society of Pediatric Oncology (SIOP),October 19-22, Ireland (in Dublin).
- 2) 米山雅子 (2017). 看護口演「経験者への支援」座長, 第14回日本小児がん看護学会学術集会. 2016.12.東京.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本小児がん看護学会事務局, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 日本小児看護学会 日本小児看護学会誌査読委員, 査読 (論文 1 篇), 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) 日本看護学会論文集「ヘルスプロモーション」論文選考委員, 査読, 2016.12.1～2017.3.31.

6 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学Ⅱ, 小児看護学実習, 小児看護学Ⅰ, 統合実習 (小児), 卒業研究, 基礎看護学Ⅱ実習, 臨床看護応用演習.
- 2) 大学院
小児看護学演習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科 国際協働ワーキング委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科 FD 委員, 2016.4.1～2017.3.31.
- 3) オープンキャンパス 小児看護学紹介担当, 2016.8.6.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立こども医療センター, 「きょうだいの主役になる日」 神奈川県立こども医療センター協賛イベント開催, 2016.7.30.

渡邊 恵

1 著書

- 1) 渡邊恵 (2016). 医学書院看護出版部編, 2017 年度版准看護師資格試験問題集 別冊 - 解答と解説. 東京: 医学書院.

2 学術論文

- 1) 渡邊恵, 水戸優子 (2017). 臨床現場における体温・循環調節の看護用具の活用実態に関する研究—文献検討とインタビュー調査—. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 43-53.

4 学会等での活動

- 1) 渡邊恵, 水戸優子 (2016). 臨床現場における体温・循環調節の看護用具の活用実態に関する研究. 日本看護学教育学会第 26 回学術集会講演集, (東京).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本ヒューマン・ケア心理学会 第 18 回学術集会 (埼玉) 運営協力, 2016.9.

6 学内教育活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習, 成人看護学 (慢性期) 実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 2 年次クラス担任, 2016.4.～2017.3.
- 2) オープンキャンパス委員会, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) H28 年度神奈川県看護職員 認知症対応能力向上研修 ファシリテーター, 2016.8.
- 2) 横浜市立戸塚高校 1・2 年次合同大学出張講義 「排泄の援助」模擬授業を実施. 2016.11.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 渡邊恵研究代表者. 臨床現場の活用事例にもとづいた体温・循環調節の看護技術教材の開発. 科学研究費補助金 若手研究(B), 2340 千円, 2015.4.1～2018.3.31.

小柴 梨恵

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本小児がん看護学会事務局，2016.4.1～2016.12.31.

6 学内教育活動

1) 学部

小児看護学実習，統合実習，基礎看護学実習Ⅱ.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科 設備・備品委員，2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 看護学科 学生委員，2016.4.1～2017.3.31.

小林 由実

2 学術論文

- 1) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 若村智子, 鈴木ひとみ, 平田美和, 小林由実, 鈴木和代 (2016). 移動動作ガイドラインに基づく道具を使用した安全安楽な方法の検討. 日本看護技術学会誌, 15(1), 22-24.

4 学会等での活動

- 1) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 若村智子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2016). 交流セッション(続)移動動作ガイドラインに基づく補助具を使用した安全安楽な方法の検討. 日本看護技術学会第 15 回学術集会講演抄録集, 58.
- 2) 小林由実, 水戸優子 (2017). 移動用具の違いによる患者のベッド上での上方移動における看護者の動作分析 (第 2 報) 素手, スライディングシート, ポジショニンググローブの準備時からの比較. 第 24 回看護人間工学部会総会・研究発表会プログラム抄録集, 18.

6 学内教育活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員会 1 年生クラス担任, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) 平成 28 年度チューター, 2016.4.1～2017.3.31.

佐々木 杏子

2 学術論文

- 1) Okubo Nobuko, Sasaki Kyoko, Suzuki Kazuyo, Takahashi Kayoko. (2016) .
Clinical diffusion process of evidence-based nursing care : Discussion of sitting position without back support care program based on Rogers' theory. 日本ニューロサイエンス看護学会誌, 3(2), 49-58.
- 2) 佐々木杏子, 大久保暢子, 鈴木和代 (2016). 背面開放座位ケアプログラムの事例分析から考察する根拠あるイノベーティブ看護技術の普及過程. 日本看護技術学会誌, 15(3), 265-275.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護学教育学会, 第 28 回学術集会企画委員, 2017.3.～

6 学内研究活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 成人 (慢性期) 看護学実習, 老年看護学実習.

8 社会貢献

- 1) オープンキャンパス, 看護学科 血圧測定コーナー担当, 2016.8.7.
- 2) 神奈川県看護職員認知症対応力向上研修, ファシリテーター, 2016.8.
- 3) 横須賀高校スーパーサイエンススクール協力委員, 2017.1.～

田代 理沙

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅱ，成人看護学（急性期）実習，統合実習，卒業研究．

7 学内各種委員会活動

1) 学科学生委員会 4年生クラス担任，2016.4.1～2016.11.11.

2) 設備・備品担当委員会，2016.4.1～2016.11.11.

3) 平成 28 年度チューター，2016.4.1～2016.11.11.

14 その他

1) 土井英子，野村美香，歌川美希，大場美穂，田代理沙，小林珠実．外来化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の質—パイロットスタディー．平成 28 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会．2016.7.6.

富塚 美和

4 学会等での活動

- 1) 富塚美和 (2106). 認知症に対する中高年男女の態度と知識の実態および予防行動実践に関連する要因. 第 19 回日本地域看護学会学術集会抄録集, 示説発表.

6 学内教育活動

1) 学部

公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護管理論Ⅱ, 地域看護学実習, 在宅看護学実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 国際協働ワーキンググループ, 2016.10.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) ゲストスピーカーとして授業を依頼した産業看護師の所属する企業における健康イベントにおいて, 生活習慣病予防に対する支援を行った. 2016.11.13～2016.11.14.

中田 かおり

4 学会等での活動

- 1) 中田かおり (2017). 働きながら母乳育児を継続した女性の体験. 第 31 回日本助産学会学術集会集録, 630. ポスター発表. 2017.3.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 第 30 回神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会実行委員, 2016.6.1～2017.3.4.
- 2) 第 30 回神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会一般演題査読委員, 2016.10.21～2017.3.4.
- 3) 第 32 回日本助産学会学術集会企画委員, 2017.1.10～2017.3.31.

6 学内教育活動

- 1) 学部
リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産診断技術学Ⅳ, 助産学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2016.4.1～2017.3.31.
- 2) オープンキャンパス, 看護学科見学ツアー担当, 2016.8.6～2016.8.7.
- 3) 学生委員会, 2016.4.1～2017.3.31.
- 4) 3 年次担任, 2016.4.1～2017.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 中田かおり. 出産後に復職を予定している女性に対する母乳育児支援プログラムの開発. 研究助成 B (奨励研究), 328 千円, 2016.4.1～2017.3.31.

松戸典文

2 学術論文

- 1) 松戸典文, 香川高広 (2017). 軽度認知機能低下患者の離棟・離院防止機器の安全性の検証. 神奈川県立保健福祉大学誌, 14(1), 61-70.

4 学会等での活動

- 1) 松戸典文, 香川高広, 大田哲生 (2016). 認知機能が低下した患者の離棟防止機器の作成. 第47回日本看護学会-慢性期看護-学術集会抄録集, 342. 米子.

6 学内教育活動

1) 学部

在宅看護学, 老年看護学実習, 地域看護学実習, 教職実践演習(養護), 総合演習(養護), 学校保健論Ⅱ, 在宅看護学実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員会, 2016.4.～2017.3.
- 2) 学科実習委員会, 2016.4.～2017.3.
- 3) 学科設備・備品委員会, 2016.4.～2017.3.

8 社会貢献

- 1) 第36回日本看護科学学会学術集会実行委員(東京), 2016.12.10～11.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 松戸典文, 松田到也, 福岡正裕, 河野貴行. 高齢者の食品摂取による便秘改善の効果に関する研究. 株式会社山田養蜂場本社助成金, 1,076千円, 2016.6.1～2017.1.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 松戸典文, 松田到也, 福岡正裕. 病院に入院している高齢者の食品飲用による便秘改善の効果に関する研究. 神奈川県立保健福祉大学研究助成 B(奨励研究), 368千円, 2016.8.1～2017.1.31.

藪田 歩

2 学術論文

- 1) 山下真裕子, 藪田歩, 伊関敏男 (2016). 地域で暮らす精神障がい者の訪問看護師による服薬支援の現状と課題. 精神保健看護学会誌, 13(1), 99-107.

4 学会等での活動

- 1) 藪田歩 (2016). 家族の意思決定を支える力と支援. 第 26 回日本精神保健看護学会学術集会プログラム・抄録集, 152. (6月 滋賀)
- 2) 伊関敏男, 山下真裕子, 藪田歩 (2016). 精神科看護職の睡眠障害に対する認識. 第 26 回日本精神保健看護学会学術集会プログラム・抄録集, 144. (6月 滋賀)
- 3) 山下真裕子, 伊関敏男, 藪田歩 (2016). 地域で暮らす精神障がい者の服薬に関する現状. 第 26 回日本精神保健看護学会学術集会プログラム・抄録集, 119. (6月 滋賀)
- 4) 野上睦美, 四十竹美千代, 辻口喜代隆, 吉井忍, 菊池紀子, 藪田歩 (2016). 長期血液透析患者の体験 心的外傷後成長に焦点を当てて. 第 41 回日本看護研究学会雑誌 (CD-ROM), 39(3), 138. (8月 筑波)
- 5) 伊関敏男, 山下真裕子, 藪田歩 (2016). 精神科看護職の睡眠に対する認識 性別・年齢・経験年数による比較. 第 41 回日本看護研究学会雑誌 (CD-ROM), 39(3), 238. (8月 筑波)
- 6) 山下真裕子, 伊関敏男, 藪田歩 (2016). 精神障がい者のニーズを取り入れた服薬における遠隔看護支援システムの開発. 第 41 回日本看護研究学会雑誌 (CD-ROM), 39(3), 246. (8月 筑波)

6 学内教育活動

1) 学部

精神看護学Ⅰ(一部), 精神看護学Ⅱ(一部), 精神看護学実習(一部), 統合実習(精神看護学領域)(一部).

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員会, 2015.4.～
- 2) 看護学科 FD 委員会, 2016.4.～

8 社会貢献

- 1) 神奈川県精神科訪問看護・アウトリーチ研究会, 運営委員, 2014.6.～
- 2) 精神障害者地域家族会「つばさの会」アドバイザー, 2014.6.～
- 3) 横浜ピアスタッフ協会 アドバイザー, 2015.12.～
- 4) 第 5 回全国ピアスタッフの集い現地実行委員, 2016.4.～2016.10.

10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 藪田歩，山下真裕子，伊関敏男．家族心理教育に継続参加する統合失調症をもつ人の家族が察知する統合失調症をもつ人の援助希求行動とその対処プロセス．平成 28 年度日本精神保健看護学会研究助成，202 千円，2016.4.～2017.3.